



自然豊かな、群馬県みなかみ町は、登山、カヤック、パラグライダーなどなど、さまざまなアウトドアアクティビティを楽しむことができることで有名。だけどせっかくだったらちょっと変わったものを、というワケで今回はATV(バギー)にチャレンジ!



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

その26

日本全県 アウトドア巡り

群馬県

どんな地形もモノともしない
スリリングなATV体験!

(群馬県・みなかみ町)

みなかみ町には
遊び場が沢山!



今月のマドンナ



グランボレ インストラクター
加藤奈保子さん

ATV(全地形対応車)はさまざまな種類があるが、体験で使用するのは小排気量のオートマ車。体験には免許などは不要。料金は45分のコースで6600円(車両レンタル込み)。ほかに林間コースを体験できるコースもある。

どんな悪路も
突き進む

頼れる相棒ATV



ATV(ALL TERRAIN VEHICLE)は、その名のとおり、どんな地形も走破できる小型のバギー。欧米では、ハンターなどが荒野に分け入るときの足として活躍する立派なアウトドアギアだけど、日本ではなかなかお目にかかれない。そんなATVを気軽に体験できるのが、今回訪れたグランボレだ。

山の中腹に作られた専用コー

凹凸あり、急カーブ&急傾斜ありのバリエーションに富んだコース設定!



プロのラリーリストが設計しただけあって、なかなかスパルタンなコース設計。特に急カーブ中にかかる横Gはかなりのもので「倒れちゃうんじゃない?」とちょっと不安になるほど。対象年齢は10歳から。実は女性にも人気のアクティビティーなんだとか。

見た目も楽しい

“つぼやき”なる料理を発見!

みなかみ町にある「レストラン あすか」では、さまざまな洋食が楽しめる。中でも人気なのがこの「つぼやき」。具材たっぷりのクリーム煮の上にパンを乗せたオリジナルメニュー。見て楽しい、食べて美味しいこの料理目当てのリピーターも多い。

レストラン あすか

④群馬県利根郡みなかみ町政所1022

☎0278(62)1310



全長2kmの林間コースなら
よりスリリングな
体験が可能



コース周回のほかに、林間クロスカントリーコースを突き進むプランもある。車幅いっぱい細いコースを突き進むのだが、かなりの冒険感があった。楽しいのだ。がっつり楽しみたい人はコチラもオススメ。ただしこちらは16歳以上が対象。



あなたは“上毛かるた”を知っているか?

群馬県民が幼いころから親しんでいるのが、この群馬オリジナルのかるた。群馬県が誇る名所や名産、偉人などを網羅していて、これを極めれば、おのずと群馬の知識も極められるというシロモノ。暗唱できない群馬県民は“もぐり”なのだ!



スは、世界4大ラリーに出場した経験を持つプロのラリーリストによって設計されたという本格派。フツターの車両だったら即スタックしそうな悪路だけども……。そんな不安をモノともせず、今回のマドンナ役である奈保子さんは、いきなりグイグイ突き進む。実は奈保子さんはグランボレでパラグライダー部門のインストラクターを務める、ゴリゴリのアウトドア女子。おそらく連載史上もっとも屈強(失礼!)なマドンナなのだ(笑)。

そんな奈保子さんの後ろを恐る恐る追走すると、コースの道幅が狭いこともあって、速度感もかなりのものだし、激しい凹凸があるので、油断するとハンドルを持つていかれそうになる。でも、何周かするうちに操作感にも慣れてきて、どんどん楽しくなってくる。ちょっとスリリングなライド体験を、初心者でも気軽に楽しめる、新感覚のアウトドア遊びなのだ。



森の中を疾走した後は 春の日差しの下で小休止

ATVで森の中に分け入っていく林間コース体験。歩きとはまた違った楽しさがあるんだけど、やっぱり土埃はかなりスゴイ。そんなときはしっかりと蓋を閉めることができるスポーツボトルがとても重宝する。そして、このATV遊び、「乗ってるだけでしょ？」と思ったら大間違い。ハンドル操作は結構な腕力が必要だし、振り落とされないように常に踏ん張っていないといけないのだ。結構体力も使うし、夏場だったら汗もかく。そんなときはキンキンに冷えた水が、玉露の味わいなのだ。

砂埃の中での水分補給は
スポーツボトルに
おまかせ!



ワンタッチオープンで真空断熱構造の保冷専用ボトル。広口で水をそのまま入れれば、保冷力はさらにアップ。脱着可能なハンディポーチ付きで、ストラップを取り付けて肩掛けて携帯することも可能。
 (左)真空断熱スポーツボトル/FFZ-801F 0.8ℓ 7000円。(右)真空断熱スポーツボトル/FFZ-1001F 1.0ℓ 7500円
 ←左がロック解除、右がロックされた状態。